

陛下のラジオ

陛下のラジオはさぞ外国製のすばらしいものであらうと想像されますが、今まではごく質粗なおそまつなものであります。さき頃日本電気が口絵(3頁)にありますようなオールウェーブスーパー(電蓄兼用)RG-101A型を献上いたしました。2頁にありますのはこの配線図です。勿論キャビネットは特に口絵にありますような特製です。

本機は高周波一段、中間周波二段、低周波三段の11球式のスーパーヘテロダインで550KC~22MCを四つのバンドに分け、バンドセレクターの切換に伴いダイヤルは使用バンドだけが照明されます。又同調はフライホイールを使用し、スムーズに同調がとれるようになっております。4バンドは次の通りです。

“A” バンド 550KC~1600KC

“B” バンド 1.5MC~4.0MC

“C” バンド 4.0MC~9.5MC

“D” バンド 9.5MC~22MC

中間周波は中心周波数463KCで ± 10 KC、離調した場合26db以上のアッテネーションします。

出力は42のプッシュで最大出力は8W程度。位相反転管を使用した抵抗結合方式で、スピーカーのムービングコイルよりドライバーえ約10dbの負饋還を行われ、50 Ω より1000 Ω まで偏差 ± 3 db内で設計されています。そして周波数特性には特に意が用いられています。

トーンコントロールは三段に動作するスイッチで行い、(1)前述の如き平坦な特性の場合、(2)5000 Ω ~以上をカットする場合、(3)200 Ω 以下及4000 Ω 以上の周波数をカットする場合即ち中心部周波数のみを増幅するようになっております。これの利点は短波放送等ノイズの多い場合は(2)の特性を使用し、空電等ノイズの特別に多い場合は高い周波数のみをあまり多くカットすれば明瞭度が悪くなりますので低い周波数も同時にカットした(3)の特性で受信しますと良好な聴取が出来ます。

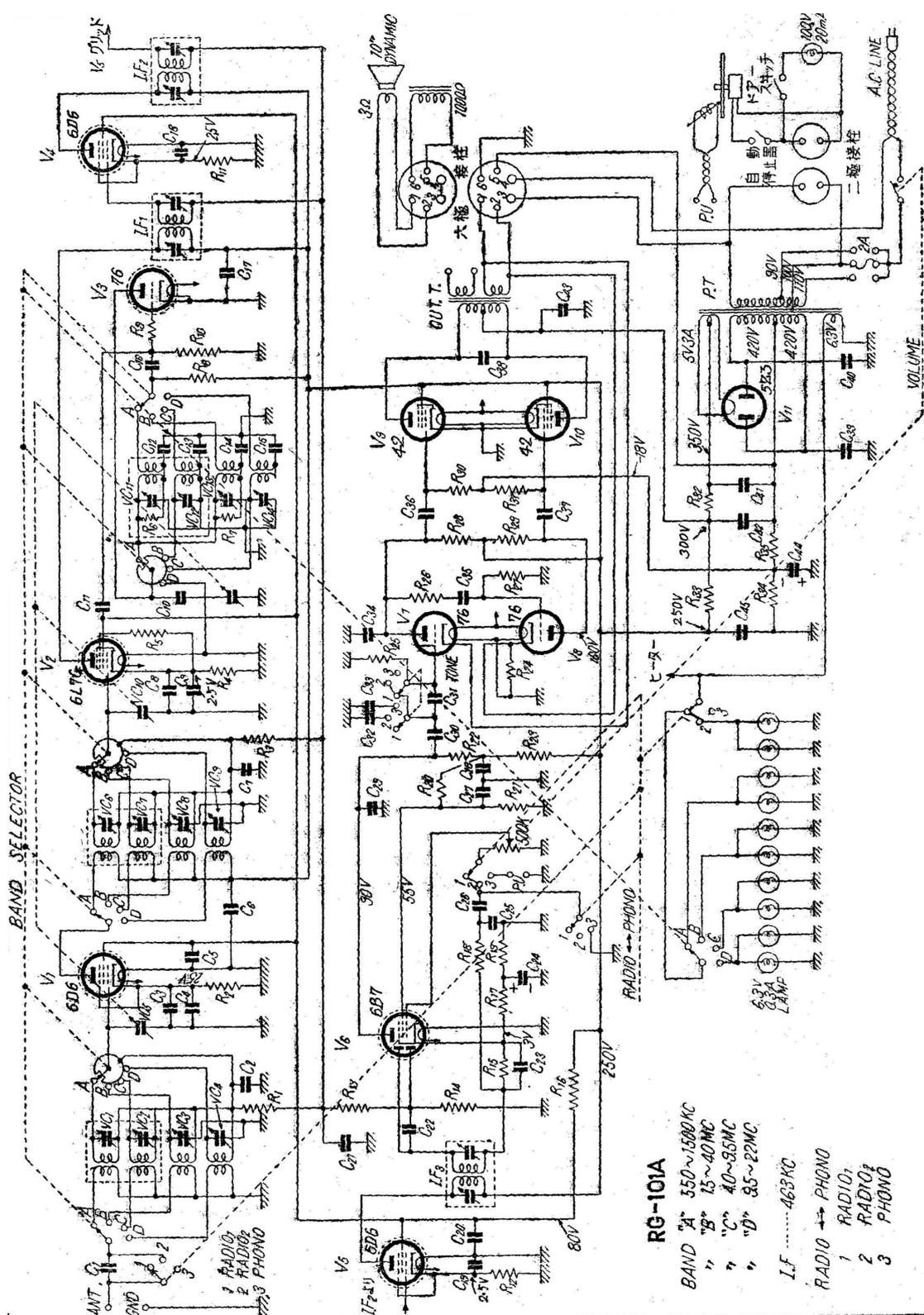
感度としては受信全周波にわたり135db以上をもち放送協会の標準空中線を使用しますと昼夜海外放送を楽しむことが出来ます。

陛下はこれにより国内放送は勿論海外よりの放送をもおきになり御団樂の一時をお過しになられておられる由承っております。これと同一のもの(キャビネットは変つていますが)を同時に大宮御所にも献上されています。

尚回路のデータは次の通りです。

回 路 部 品 表

R ₁ :100K	R ₂ :400 Ω	R ₃ :100k	R ₄ :400 Ω	R ₅ :50K	R ₆ :10K	R ₇ :20k	R ₈ :10K	R ₉ :150K	R ₁₀ :50K
R ₁₁ :400 Ω	R ₁₂ :400 Ω	R ₁₃ :1M	R ₁₄ :1M	R ₁₅ :250K	R ₁₆ :20K	R ₁₇ :100 Ω	R ₁₈ :50K	R ₁₉ :4K	R ₂₀ :50k
R ₂₁ :50K	R ₂₂ :50K	R ₂₃ :50K	R ₂₄ :2K	R ₂₅ :500K	R ₂₆ :500K	R ₂₇ :50K	R ₂₈ :30K	R ₂₉ :20K	R ₃₀ :250K
R ₃₁ :250K	R ₃₂ :300 Ω	R ₃₃ :1K	R ₃₄ :10K	R ₃₅ :10K					
C ₁ :250pF	C ₂ :0.01	C ₃ :0.003	C ₄ :0.1	C ₅ :0.003	C ₆ :0.003	C ₇ :0.01	C ₈ :0.003	C ₉ :0.1	C ₁₀ :0.01
C ₁₁ :100pF	C ₁₂ :0.0004	C ₁₃ :0.003	C ₁₄ :0.001	C ₁₅ :0.006	C ₁₆ :100pF	C ₁₇ :0.1	C ₁₈ :0.1	C ₁₉ :0.1	C ₂₀ :0.1
C ₂₁ :0.1	C ₂₂ :100pF	C ₂₃ :10	C ₂₄ :100pF	C ₂₅ :100pF	C ₂₆ :0.01	C ₂₇ :0.01	C ₂₈ :1 μ	C ₂₉ :250pF	C ₃₀ :0.01
C ₃₁ :0.002	C ₃₂ :0.002	C ₃₃ :0.005	C ₃₄ :0.001	C ₃₅ :0.001	C ₃₆ :0.01	C ₃₇ :0.01	C ₃₈ :0.003	C ₃₉ :0.003	C ₄₀ :0.003
C ₄₁ :4 μ	C ₄₂ :4 μ	C ₄₃ :3 μ	C ₄₄ :10 μ	C ₄₅ :3 μ					



RG-101A

- BAND "A" 350~1500 KC
- " " " 75~40 MC
- " " " 40~85 MC
- " " " 85~22 MC
- I.F. 463 KC
- RADIO ↔ PHONO
- 1 RADIO
- 2 RADIO
- 3 PHONO

天皇陛下とラジオ



陛下の御使用になつているラジオは上図の写真に見られるような内容はお粗末な並四程度のものでしたが、最近
は右図のような全波受信機兼電気蓄音機で国内放送は勿論海外放送をも御聴取なされ御団樂の一時をお過ごし
のことゝ承っています。

(『無線と実験』1948年1月号・旧漢字は新漢字に直してある・かな使いはそのまま。)